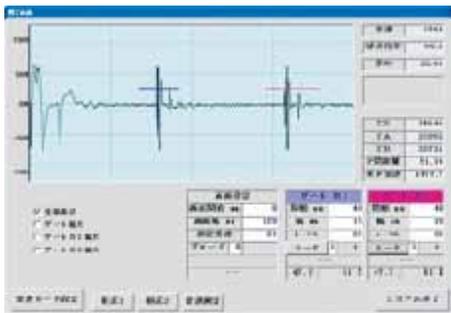


UVTの特徴

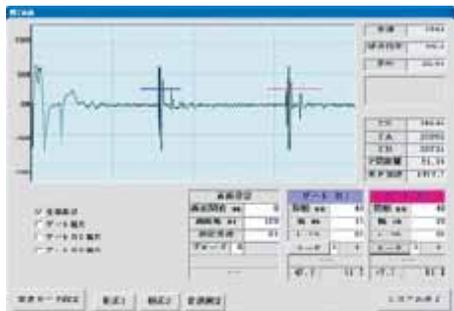
・球状化判定が客観的

測定・判定作業はコンピュータが行う為基準が統一され、球状化率の誤判定を完全に防ぐことが可能です。



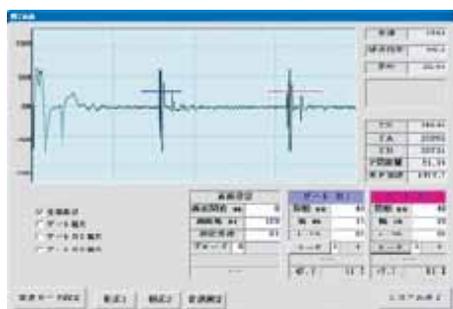
・多様な測定条件を補正

自動感度調整プログラムと常時水温補正プログラムにより、常に同条件で測定されます。



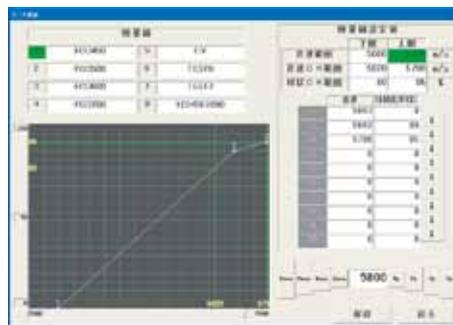
・注湯から判定まで最短8分

注湯・700度までの自然冷却・常温までの空冷・水没急冷だけで測定できます。時間の掛かる研磨作業は有りません。



複数の素材にも対応

8種類の判定基準が保存可能。
鋳物の種別データを読み込むだけで種類に応じた判定基準に変更できます。



・測定結果自動保存

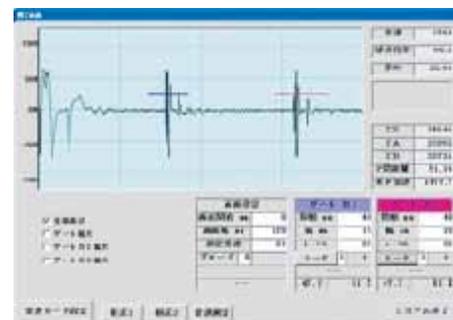
判定後、自動でデータ保存を行う為長期的な情報管理が可能です。



測定時間	判定結果	注湯	冷却速度	球状化率	球状化率の誤差
00:00:00	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:01	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:02	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:03	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:04	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:05	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:06	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:07	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:08	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:09	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:10	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:11	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:12	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:13	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:14	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:15	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:16	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:17	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:18	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:19	OK	OK	0.00	0.00	0.00
00:00:20	OK	OK	0.00	0.00	0.00

・測定作業が容易

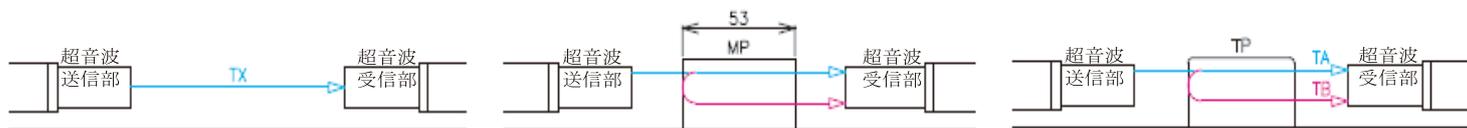
先に基準設定を行えば、ワークを置きスイッチ一つで測定を開始できます。



測定方法

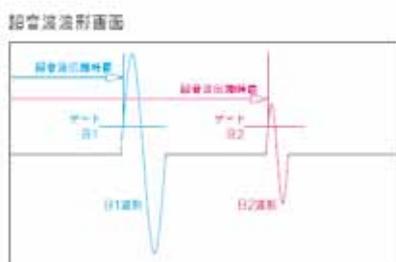
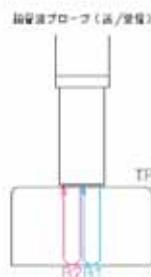
水浸式判定法

1. プロブ間に何も無い状態で伝搬時間 TX を測定します。
2. 予め厚みを計測した MP をセットすることで、水中音速を測定します。
3. TP をセットし測定します。すると計算と比較で球状化率が表示されます。



接触式判定法

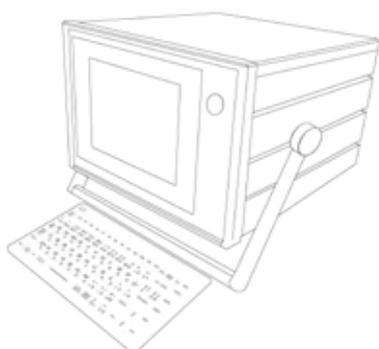
1. テストピースの厚みを計測器で計測します。
2. テストピースに接触媒質を塗り、超音波プローブを当てます。
3. 2の状態を固定し測定します。すると計算と比較で球状化率が表示されます。



モデル例

標準仕様のモデルに加え、現場の使用環境に対応し様々なタイプの装置が製作可能です。

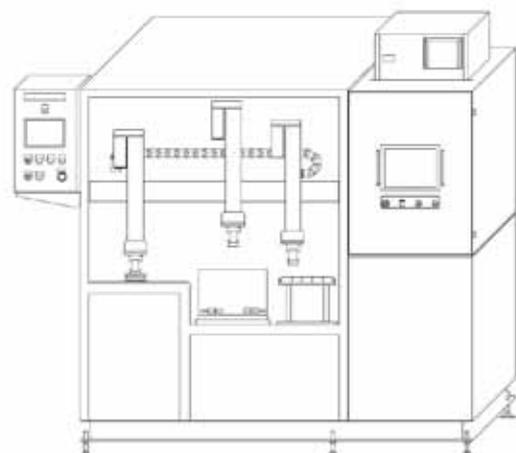
標準仕様



防塵ラック



自動化



標準構成内容

装置本体	1台
外部スタートスイッチ	1体
TP測定用、水槽、治具	1セット
超音波プローブ	2個
超音波プローブ用ケーブル	2本
USBキーボード	1個



標準仕様

測定範囲	2.5mm～200mm	外形寸法 (mm)	H220×W320×D340
外部スタートスイッチ	(音速5600m/s時)	モニタサイズ	8インチ
P R F	1KHz	HDD容量	160GB
超音波波形表示	RF表示	重量	約5.0kg
判定ゲート数	2ゲート	言語	日本語・英語・韓国語
測定範囲	1チャンネル	電源	100-240V
外部スイッチ数	2個～1個		

販売代理店



株式会社

ナカヤマ

第2版 2016年9月

■ 本社 〒451-0066 名古屋市西区児玉3丁目37-22
TEL.052-521-1171(代表) FAX.052-521-1180
E-mail info@nakayama-meps.co.jp

■ 公式サイト <http://www.nakayama-meps.co.jp/>
■ 東日本営業所 TEL.024-545-6588
FAX.024-544-6588